



令和5年7月26日

福岡県内経済情勢報告

令和5年7月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕


財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

福岡県内経済情勢報告（令和5年7月）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	緩やかに回復しつつある	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	持ち直している	回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

設備投資	4年度は増加見込み	5年度は増加見込み	
企業収益	4年度は増益見込み	5年度は減益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店販売は、インバウンドの回復やコロナ5類移行による外出需要の増加により、前年を上回っている。スーパー販売は、商品単価の上昇により、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、インバウンドの回復に加え、行楽需要が好調であることから、前年を上回っている。乗用車販売は、国内向けの生産増加により納期が改善しており、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、食料品や医薬品、化粧品などが好調であり、前年を上回っている。家電販売は、買い替え需要が一巡したことなどから、前年を下回っている。ホームセンター販売は、主力商品である園芸用品などが伸び悩み、前年を下回っている。旅行取扱高は、コロナ5類移行や全国旅行支援の延長などにより、引き続き国内外への旅行が増加している。

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械の自動車は、供給制約の影響が緩和されたことにより、高水準での生産を維持している。鉄鋼は、海外需要などが伸び悩んでいることから横ばい圏内で推移している。電子部品・デバイスは、海外向けなど一部に弱含みの動きがみられるものの、高水準で推移している。このように、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

改善の動きが続いていた有効求人倍率は、このところ横ばい圏内で推移している。新規求人数は前年を上回っており、新規求職者数は前年を下回っている。このように、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

■ 設備投資 「5年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

5年度は、製造業は前年比11.7%の増加見込み、非製造業は同36.0%の増加見込みとなっており、全産業では同29.4%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

5年度は、製造業は前年比7.6%の減益見込み、非製造業は同1.4%の減益見込みとなっており、全産業では同3.3%の減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数でみると、貸家が増加しているものの、持家、分譲住宅及び給与住宅が減少していることから前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出(円ベース)は、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

○ 企業の景況感を法人企業景気予測調査(5年4-6月期)の景況判断BSIでみると、5年4-6月期は、「上昇」超となっている。先行きについては、5年7-9月期は、引き続き「上昇」超の見通しとなっている。